

《研究課題名》

腹腔鏡下肝切除と開腹肝切除における術後癒着の比較

《研究対象者》

対象期間中（～2021 年 4 月 30 日）に当院で再肝切除を受けられる患者様

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法是以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究課題名》

腹腔鏡下肝切除と開腹肝切除における術後癒着の比較

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2021 年 12 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 消化器外科 谷 眞至

（２）研究の意義、目的について

《意義》

腹部の手術後には癒着（ゆちゃく）といって、内臓が周囲と引っ付いてしまい、容易には離れない状況が起こることがあります。腹腔鏡下手術は開腹手術と比較して癒着が少ないといわれています。

《目的》

本研究では、２回目の肝切除症例において、初回肝切除が腹腔鏡下肝切除と開腹肝切除で癒着の程度に差があるかどうかを検討します。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

本研究は、奈良県立医科大学を中心に、滋賀医科大学、大阪大学、大阪市立大学、大阪医科大学、関西医科大学、近畿大学、和歌山県立医科大学、京都府立医科大学が協力して行う多施設共同研究です。

《利用する試料・情報の項目》

上記期間に 2 回目の肝切除を受けられる患者様で、本研究に参加いただける患者様について、手術時の癒着の程度を評価して記録します。その他、通常の診療で記録する診療記録（術中出血量、手術時間、術後合併症、生存期間など）を用いてデータの解析を行います。

《試料・情報の提供先》

奈良県立医科大学 消化器・総合外科

《試料・情報の提供方法》

Excel データシートに暗号化したうえで入力を実施。奈良県立医科大学消化器・総合外科（研究代表施設）にパスワード付きデータをメールで送付する。

《試料・情報を利用する者の範囲》

研究代表者：

氏 名	機関名、部署・所属、役職
野見 武男	奈良県立医科大学 消化器・総合外科，学内講師

研究参加施設と研究責任者

機関名、部署・所属	役職	氏名
大阪大学医学部 消化器外科	准教授	江口英利
大阪市立大学医学部 肝胆膵外科	病院教授	久保正二
大阪医科大学 一般・消化器外科	教授	内山和久
関西医科大学 外科	診療教授	海堀昌樹
近畿大学医学部 肝胆膵外科	准教授	中居卓也
和歌山県立医科大学 第二外科	講師	上野昌樹
滋賀医科大学 消化器外科	教授	谷 眞至
京都府立医科大学 消化器外科学	講師	生駒久視

《試料・情報の管理について責任を有する者》

研究代表者：

氏 名	機関名、部署・所属、役職
野見 武男	奈良県立医科大学 消化器・総合外科，学内講師

（４）個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、個人を特定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして、ご提供いただいた情報が誰のものか分からない状態にして使用します。ただし、必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の情報を結び付けることができる対応表を作成いたしますが、この対応表は施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。対応表は情報送付先へ提供いたしません。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、2021 年 12 月 31 日までに下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 消化器外科 飯田 洋也

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2238

メールアドレス：hqsurge1@belle.shiga-med.ac.jp